

2.5.6 元気話・ウソつきは嫌い！

中学生は2年生から図形を使って論証の考え方を学んでいきます。でも図形じゃなくてもいいじゃないの？ ということで言葉遊びからの問題です。こっちの方がとっつきやすいかも…。

問 校庭に男の子と女の子が1人ずついました。「私は男の子！」と黒い帽子の子供が言いました。「私は女の子！」と赤い帽子の子供が言いました。2人のうち少なくとも一方がウソをついています。どちらが男の子で、どちらが女の子でしょうか？

どうでしょう？ わかりましたか？

	場合	場合	場合	場合
黒帽	本当：男	本当：男	ウソ：女	ウソ：女
赤帽	本当：女	ウソ：男	本当：女	ウソ：男

以上の4つの場合で考えると場合、少なくとも一方がウソをついているという条件と男女1人ずついるという条件から の場合だけがあてはまります。

もうひとつ、

問 3人のうち、正直者は1人で残り2人はウソつきです。3人の会話から正直者を見つけてください。
 A:「わたしは正直者です。」
 B:「Aはウソつきです。わたしが正直者です。」
 C:「Bはウソつきです。本当はわたしが正直者です。」

どうでしょう？ すぐわかりましたか？

	場合	場合	場合
A	正直(A:正直)	ウソ(A:ウソ)	ウソ(A:ウソ)
B	ウソ(A:正直 B:ウソ)	正直(A:ウソ B:正直)	ウソ(A:正直 B:ウソ)
C	ウソ(B:正直 C:ウソ)	ウソ(B:正直 C:ウソ)	正直(B:ウソ C:正直)

これも落ちついて分析するとわかりますね。場合 はCが、場合 はBの言葉がおかしくなります。よって正解は場合 です。(この文は東京書籍の教科書から引用しました。)